

天然素材を使って  
わび・さび感のあるエクステリアを。  
セキュリティのノウハウもアドバイス

「庭づくりとは、トータルにバランスのとれた美しい景色を創造すること」と考え、社名を「創景社」として、9年前に創業。「お客様のイメージを大切に」をモットーに設計・施工に取り組んでいます。イメージが確立されているお客様には、使い勝手・耐震性・耐候性やメンテナンスについて検証しながら、より完成度の高い設計を行っています。また、これからイメージづくりというお客様には、十分なヒアリングを実施し、提供する資料・情報を厳選して、いたずらに迷うことのないように提案することを心がけています。庭や外構は「景色」ととらえ、時の経過とともにいい意味で風化するものを提供したいと考えています。ですから、お客様には素材のもつ長所・短所を十分に理解していただき、10年後や20年後にも満足できる作品づくりに取り組んでいます。その甲斐あって、最近お客様から好評をいただくことが多く、やりがいを感じています。当社の取り組みを理解していただけるお客様と、より多く出会えるように、今後はHPを立ち上げるなど広報活動に力を入れて、もっと個人のお客様との仕事を増やしていきたいと思っています。スタッフは、設計が私を含めて2名、現場の職人が4名。外注せずに自社だけで行き届いた工事をするのがモットーです。実績は月に3～5件です。



代表・中島常光様

最近のお客様は目が肥え、知識も豊富ですから、お眼鏡にかなうためにも、デザイン性の高さにはこだわりたいですね。ただ、あくまでもお客様の希望をカタチにすることが最重要。時にはキラキラと人目を引くものを使い、またある時には使うにつれ味の出る天然素材で、わび・さび感のあるエクステリアを心がけています。もう一つ、意識しているのが「防犯」。私はNPO法人・犯罪予防相談センターのセキュリティアドバイザーに認定されています。その立場から、外構エクステリアに防犯機能を盛り込むことで、安心して生活できる住環境の提案を心がけています。さらに、時間があれば、一見すると無関係な異業種の展示会にも足を運び、新素材や技術の発見と業者発掘にも励んでいます。日ごろから常に新しい情報にアンテナを張り巡らして、業界の枠や既成概念にとらわれないことと自由な発想で取り組みたいと思います。

最近のお客様は目が肥え、知識も豊富ですから、お眼鏡にかなうためにも、デザイン性の高さにはこだわりたいですね。ただ、あくまでもお客様の希望をカタチにすることが最重要。時にはキラキラと人目を引くものを使い、またある時には使うにつれ味の出る天然素材で、わび・さび感のあるエクステリアを心がけています。もう一つ、意識しているのが「防犯」。私はNPO法人・犯罪予防相談センターのセキュリティアドバイザーに認定されています。その立場から、外構エクステリアに防犯機能を盛り込むことで、安心して生活できる住環境の提案を心がけています。さらに、時間があれば、一見すると無関係な異業種の展示会にも足を運び、新素材や技術の発見と業者発掘にも励んでいます。日ごろから常に新しい情報にアンテナを張り巡らして、業界の枠や既成概念にとらわれないことと自由な発想で取り組みたいと思います。



タテ格子と古瓦でモダン和風に

N様邸

古い日本家屋の手前に建てたモダンな和風の家、そのエクステリアをプランニング。お客様からの要望は「土蔵をイメージした家の雰囲気に合わせてほしい」。そこで、原木から製材し加工した木材に、耐候性のある柿渋を塗装したタテ格子の垣根に竹を植え、つくばいをあしらったシンプルで斬新な和の庭を実現。タテ格子の接続には、「汎用型材」が採用されています。「イメージ豊富なお客様で、話し合いごとに『あれ使おう』『こうしたらどう?』とプランがふくらんでいきました。昔使われていた瓦や石臼を敷石やつくばいに再利用しましたが、そういうことをお客様自身が楽しんでくださいました。変更も多く時間はかかりましたが、お客様からご満足をいただき、私自身も勉強になりました。」(設計担当・北村様談)



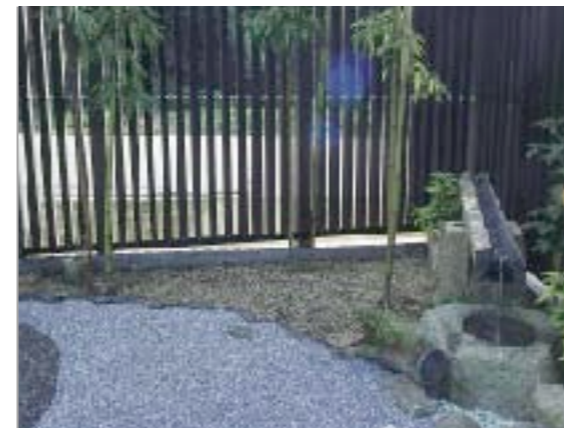
【玄関側から見た全景】  
アプローチが道路から直接90度入るのでなく、タテ格子に沿ってナナメに折れ、遠回りして入るがために、道路からの視線を避るとともに、狭いスペースを広く感じさせます。



【まがりくねったアプローチ】  
道路からナナメに入り、さらにまがりくねって、玄関までの道のりの長さを楽しめるアプローチ。タテ格子を接続しているのは「汎用型材」です。



【道路側から見た全景】  
手前のモダン和風の家だけでなく、奥の日本家屋とも調和するエクステリア。道路に面した部分はタテ格子でさりげなく目隠しして、プライバシーを確保しています。



【石臼のつくばい】  
家にあった古い石臼を再利用してつくばいに。懐かしいものが新しい家でよみがえり、お客様も大満足。



【アプローチに埋め込まれた古瓦】  
以前あった牛小屋に使われていた古瓦や軒先瓦をアプローチに埋め込み、楽しいアクセントに。



【母屋との境界に格子窓を】  
奥にある母屋の玄関とをつなぐ場所には、古い格子窓を扉のように取り付けて、さりげなく目隠し。



【庭から道路を見る】  
アプローチの砂利道から、タテ格子越しに道路を見たところ。山林の借景が美しい。

やさしいカラーで遊び心を演出

N & K様邸

「屋根瓦や外壁の色に合わせ、クローズにしてほしい」というお客様の要望にそって、全体をやさしい暖色系でまとめたエクステリア。なかでも、「ラフル」のメタリックイエローの門扉とフェンスがおしゃれなアクセントになっています。遊び心のある色使いにお客様も大満足。勝手口には「カムフィ」も採用。



【カラフルな門まわり】  
門扉「ラフル」のメタリックイエロー、塗り壁のクリーム色、塀の基礎ブロックのローズ色が美しく調和。ナナメに並べたリズムミカルな小窓も楽しい。



【エクステリア全景】  
屋根瓦のオレンジ、壁のライトベージュに合わせ、全体を淡い暖色系にまとめたエクステリア。ご要望通りのクローズ外構ですが、防犯を考え、透けて見える「ラフル」のフェンスを採用。